

ひとを結ぶ。  
まちを結ぶ。  
column  
No.73  
地域おこし協力隊

3密を避けた灯り舟は多くの人が乗船



好調の灯り舟に続き  
雑祭りで観光復活へ

コロナの影響で大きな打撃を受けた観光業界。柳川でも毎年多くの観光客でにぎわう「沖端水天宮祭」や「白秋祭水上パレード」などが中止になりました。しかし、いつまでも立ち止まっているわけにはいきません。「With コロナ」の新しい生活を呼びかけながら、イベントを少しずつ再開しています。中でも「灯り舟」は昨年度を大きく上回る乗船客数となりました。舟の定員を半数にして、貸し切り舟のみの運航とするなど、安心して夜の川下りを楽しみたいというお客様のニーズをつかめたと考えています。

来年1月末から雑祭りのイベントが順次開催されます。柳川の雑飾りやさげもんは本当に魅力的です。私の生まれ故郷鹿児島にも数多くの伝承文化がありますが、これほどきれいで見応えのあるイベントはありません。コロナ対策を徹底し、1人でも多くの人に安心して楽しんでもらうため、昨年度以上のイベント内容を実行出来るよう準備を進めていきます。



竹下 政志 (49歳)

【プロフィール】市観光課に所属。観光プラットフォーム構築を担当

大都市圏から地方へ人の流れを作り、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指すプログラム「地域おこし協力隊」。市で活動する7人の隊員たちの活動を紹介します。  
【問】市観光課 (☎ 77・8563)

偉人の人となりを学生に説明



柳川の歴史偉人を  
学生たちとデザイン

4月に地域おこし協力隊として柳川へやって来て、あっという間に半年が過ぎました。こちらへ来た時期が新型コロナ感染拡大の時期と重なったこともあり、イベントや計画が中止となるなど、なかなか思うような活動が出来ずにいましたが、9月にひとつ動きがありました。

福岡デザイン&テクノロジー専門学校と全国の系列学校の学生たちに、宗茂公や閻千代など柳川の歴史偉人5人を、キャラクターとしてデザインしてもらったのです。私は、各キャラクターの印象を左右するイメージカラーを決め、偉人たちの人となりを学生に説明しました。子どもの頃から、絵を描いたりデザインをしたりすることが好きで、今回こうして好きな分野を仕事に生かすことが出来て嬉しく思います。来年2月には学生たちがデザインした各キャラクターの優秀作品が決定します。宗茂公たちがどんな新たな姿となって誕生するか、皆さんどうぞ楽しみにしてください。



楠田 千佳 (44歳)

【プロフィール】市観光課に所属。柳川プロモーションを担当

市の職員がごみの分別方法を具体的に説明



1時間で手軽に学べる  
出前講座の活用を

地域でごみの減量に取り組むため、9月23日、枝光公民館でごみ減量についての出前講座が開催されました。

まず、市廃棄物対策課の職員が令和4年に完成する新しいごみ焼却施設の建設負担金を減らすためにも、市全体でごみの減量化に取り組む必要があることなどを説明。次に、家庭でよく出るティッシュペーパーやお菓子の箱などを使って、雑紙は紙袋にまとめて入れて、ひもで縛って資源ごみの日に出すなど、ごみの分別方法を解説しました。参加者はメモを取ったりうなずいたり終始感心した様子。最後の質問コーナーでは多くの質問が飛び交いました。

ごみ減量の出前講座は1回当たり約1時間です。PTAの会議や婦人会の集まり、地域の総会などと合わせて受講して、ごみの減量にご協力をお願いします。同講座の申し込みは、市人事秘書課(☎77・8403)まで。



地域全体で  
ごみの減量を

枝光行政区長  
古賀 長一郎さん

市がごみの減量に取り組む背景や、ごみの分別方法など学ぶことがたくさんありました。ごみを分別する習慣は、すぐにはできないと思いますが、地区全体で少しずつごみ減量の輪を広げていこうと思います。

10月からごみの収集日が変わっています。資源ごみは、可燃ごみと同じ場所に出してください。また、具体的な収集時間は変更後の運用が軌道にのるまではお知らせが難しい状況です。当面の間は、収集漏れがないように収集日の朝8時までにごみを出してください。

市内の可燃ごみの量



分別できるものは分別、毎日少しずつ心がけを

8月と9月の可燃ごみの量を比較すると、9月の方がごみが増えています。また、前年度と比較しても1カ月のごみの量は増加。新型コロナウイルスでの自粛生活の影響や台風が通過した後に片付けをした人が多いためだと考えられます。片付けで出たごみはまとめて可燃ごみ袋に入れるのではなく、プラごみや雑紙など分別できるものは分別し、資源ごみとして出してください。



出前講座で「ごみの減量方法を学ぼう」  
シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」⑭

市職員が講師として出向き、10人以上の団体を対象に市政の話をする出前講座。市廃棄物対策課は、同講座で市内を回り、ごみ減量のための「ごみ」の出方や分別の方法などを説明し、協力をお願いします。今回は9月に枝光地区で行われた講座をレポートします。  
【問】同課(☎72・1334)

